



CAVI検査

CAVI検査という言葉聞いたことがありますか？(キャビ検査と読みます)
あまり聞いたことがないという方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？
動脈硬化を調べる検査で検査自体は簡単で痛みもあまり感じません。
今回はCAVI検査を紹介します。

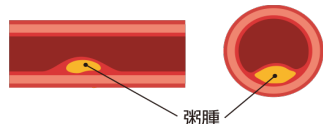
動脈硬化とは

血管が硬くなることです

血管が硬くなると、血管の内側がもろくなって粥腫(じゆくしゆ)＜コレステロールなどがたまってできるこぶのようなものをいいます＞ができ、血管の中が狭くなったり詰まったり、粥腫がはがれて血液中をただよい細い血管を詰まらせたりします。

血管の内側がせまくなると必要な酸素、栄養がいきわたらず、臓器や組織が正しく機能しなくなります。さらに血管が詰まると臓器や組織に血液が流れず、壊死してしまうこともあります。また硬くなることで血管はもろくなり、破れやすくなります。

自覚症状がないことから「沈黙の殺人者」と呼ばれています。



血管の内側に粥腫ができ、血管がつまりやすくなる



CAVI検査

CAVIとは心臓(Cardio)から足首(Ankle)までの動脈(Vascular)の硬さの指標(Index)の略で動脈の硬さの指標になっています。

動脈は血液を全身に送るポンプの役目を果たしています。ポンプの内側の圧力(すなわち血圧)が変化した時のふくらみ具合をみることによって、ポンプのしなやかさ、つまり動脈の硬さが分かるというものです。

CAVI値は動脈硬化が進行するほど高い値となります。大動脈の進展性の低下は心疾患の発症や予後を規定する因子となることが知られており、早期診断と管理に役立ちます。

検査の流れ

- ①厚手の服や靴下は脱いで仰向けで寝ます。
- ②両腕、両足首に血圧測定用のカフを付けます
- ③胸元に心音マイクを付けます
- ④両腕、両足首の血圧を測るため、カフがギュッと締まっていきます。



※検査中はリラックスして、力を抜き、楽にしてください
 ※検査結果に影響が出ますので手足を動かしたり、しゃべったりしないでください。

検査結果はこのような形でお返します。

9.0以上で動脈硬化の疑いがあります。

動脈硬化が進むほど、CAVI値は高くなっていきます。

CAVIの値を同年代の健康な方の平均値と比べることで血管年齢がわかります。

CAVI (キャピィ) 検査結果				測定日:
氏名:		年齢:		様
ID:		所属1:		
医師名1:		医師名2:		
技師名:		身長: 167.0 cm		体重: kg
		BMI: kg/m ²		HR: 66 [拍/分]
検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 CAVI	右	8.0	~8.9	血管の硬さは50代前半に相当します。
	左	7.8	(7.4±0.7)	血管の硬さは40代後半に相当します。
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.15	0.91~1.40	正常範囲です。
	左	1.11		正常範囲です。
<p>CAVI - 年齢グラフ</p>				
<p>右上腕血圧 150/98 (131) 脈圧52</p>		<p>左上腕血圧 145/98 (116) 脈圧47</p>		<p>右足 今回の検査では正常範囲です 左足 今回の検査では正常範囲です 上腕の血圧が高めです</p>
<p>右足首血圧 173/87 (120) 脈圧86</p>		<p>左足首血圧 167/85 (109) 脈圧82</p>		<p>医師の指示に従って下さい 次回検査日 年 月 日 コメント</p>

「人は血管とともに老いる」と言われており、年齢を重ねるとともに血管も老いていきます。また、食生活や運動不足などの生活習慣の乱れによって、血管の老化スピードは速くなり、近年では実年齢よりも高い血管年齢の方が増えてきています。CAVI検査で一度血管年齢を調べてみてはいかがでしょうか？



検査について詳しく知りたい方は、医師にご相談ください。